

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年4月3日 第214号

—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & F A X 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



一般
質問③

「障害者差別解消法」の
実効ある取り組みを

2月定例会における一般質問3つ目についてご報告致します。

4月から実施される「障害者差別解消法」の実効ある取り組みを行うため、県条例制定の必要性について質しました。この法律は障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をめざすという法律です。

福祉保健部長は「障害を理由とする差別の解消を推進

し、障害のある方の権利擁護を一層図るため、法律の円滑な施行に取り組むことが必要であると考えており、法律の施行後の状況を踏まえ、関係のみならず、まのご意見を伺いながら、その必要性も含めて検討してまいります」と考えております。」と答弁しました。

ともに差別のない真に平等な社会をつくるため、みなさんといっしょに考え、提案して行きたいと思えます。

(奥村のり子)

消費税10%きっぱり中止を
選挙目当ての姑息な手段やめよ

アベ首相周辺で来年4月の消費税10%増税の「延期」発言が騒がしい。一般紙でも「先送り」「読売・朝日」「消費税増税再延期へ」「首相、景気失速を懸念(産経)、日刊「赤旗」は3月25日付「主張」で「失政認めきっぱり中止こそ」と報道。

首相は3月の「国際金融経済分析会合」に、アメリカのノーベル経済学賞受賞者一人を招き、「日本を含め世界経済は弱さが蔓延している」、増税は「今やるべきではない」と進言を受けました。アベ氏は14年の衆院解散の際10%増税を18カ月延期し、「リーマンショックや大震災のような重大事態が起きない限り再延期はしない」と断言。「アベノミクスの失敗」と言われるのが嫌で表向きは否定しても、「世界経済の減速」に責任を転嫁し増税延期で参院選の争点化を回避。衆院解散ダブル選挙も視野に入れ、5月の伊勢志摩サミット前後に表明するのではないかとの見方が広がっています。

アベ政権下で正規雇用が23万人減り、非正規が172万人増え、勤労世帯(2人以上世帯)の可処分所得は97年のピーク時より7万円(月当たり)も減り、社会保障は軒並み負担増・給付減の連続。1昨年の消費税8%ショックで個人消費が落ち込んだアベノミクスの失敗を認め10%増は「延期」ではなくきっぱりやめるべきです。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 4月1日 市駅前・吉宗像前宣伝、会議、旧県議会 議事堂見学、生活相談
- 2日 守ろう90条の川市民の会総会と講演
- 3日 ウォーキングあいさつ、自治会総会
- 4日 生活相談
- 5日 会議
- 6日 地域訪問
- 7日 無料生活相談、国会議



Relay talk

滝畑の産廃問題

一般質問の風景
上から見た写真です。右端の左端で立って答弁しているのが仁坂知事です。

滝畑・山口地区の産廃計画に対し、2月3日、業者が市に「紛争予防条例」に基づく周知計画書を提出しました。周知計画書には、計画の広告・縦覧・説明会の開催が記載されていますが、説明会の対象を滝畑地区としていることや、山口地区などは条例外の説明としているなど看過できない問題点が明らかとなっています。このような業者の態度は信頼関係を築こうという姿勢には見えず、更に不信を募らせるものとなっています。

滝畑自治会、山口地区連合自治会は1月26日に大阪市立大学・大学院名誉教授、熊井久雄氏出席のもと、尾花市長、尾崎議長、仁坂和歌山県知事に対し計画地の危険性の実態を調査した「和歌山

不信が募る業者の「周知計画書」

市に計画されている安定型産業廃棄物最終処分場問題調査報告書」を提出されました。この報告書の眼目は、計画地を調査し、危険性を明らかにしたことにあります。そこで次の2点を本会議で質問しました。

① 2月3日の業者の周知計画書にどう対応したのか。通知にこめられた思いはどうか。

② 山口地区連合自治会から提出された1月26日の調査報告書についてどうか。

市は、「周知計画書の内容を精査し、また、滝畑自治会、山口地区連合自治会から、説明会の開催日時についての調整不足、関係住民の範囲不足について強い申し出があり、2016年2月16日に事業者に対し再検討を申し入れる内容の通知を行っています。紛争予防の観点から、関係住民との良好な関係を損なわないように努め、誠意を持って説明会を開催すること、対象地域についても十分配慮された上で設定をされたい、との考えを通知したものです。調査報告書については参考にして行きたいと考えています。」と答弁。業者は誠意のある態度を示すべきだと強く思います。

党市議会議員
南畑さち代

